

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 2日 (19:00 ~ 20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井
福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	9人	2人	0人	11人

前回の改善計画	・初回ご利用までに、職員間でカンファレンスを行ない、情報を共有し支援に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者 ケアマネが収集したご利用者の情報をミニカンファ開催時にスタッフに伝え できない時は申し送りノートや口頭で職員に伝え支援に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	1	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	8	2	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	4	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
管理者 ケアマネが得た情報をミーティングで他スタッフに伝え情報を共有していた。新しい情報がある時は申し送り帳で情報を共有していた。センター方式のシートを活用して個々のスタッフも情報を得ようとしていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者とのコミュニケーションが上手くとれないスタッフがご利用者の必要な支援ができないことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始一週間は詳しく記録を残していく。 排泄 食事 ADL 日中の過ごし方 精神的な部分のアセスメントを実施しニーズを捉え統一した支援ができる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 2日 (19:30 ~ 20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井
福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	5人	1人	11人

前回の改善計画
・センター方式のシートを活用しご利用者の「～したい」の実現ができるように情報を集め支援に努める。 また、ミーティングでご利用者の情報を共有し実現できるように、話し合いを持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果
・「～したい」の把握ができていない。 ・ご利用者全員へシートを使ってのアセスメントが出来なかった。 ・ミーティングでスタッフが日々の関わりの中で得たご利用者の情報を共有し支援できるように努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	3	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	3	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	7	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	5	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 目標を個人記録に記入している事で 日々振り返り出来ている。 ご利用者の状況に合わせてシートを(アセスメント表)を活用し情報共有に努めている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご利用者の「～したい」の変化に気づけていない。 「～したい」を把握できても時間が作れていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日々のご利用者の「～したい」の言葉をお聞きしたら個人記録の記載の横の気づきの枠に※印をつけていく。 (※印の内容を経過記録にも記載する。)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 2 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井
福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	5 人	0 人	11 人

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
・個人記録の気づきの欄にスタッフが気づいた事を記入していき、ご本人の状態や希望に合った食事、入浴、排泄の支援を行う。	・ご本人の希望で入浴されることができていた。食事に関して朝食はパンが良いと言われる方にはご用意して召し上がって頂けた。排泄についてはご本人から要望があり時間にて誘導出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	7	2	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	10	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	5	6	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	8	2	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	7	4	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ご利用者の体調に変化があると記録用紙を 24 時間シートに変更し状態を密に記録しご家族に報告し病院受診や必要な支援を行った。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ご本人視点での柔軟な支援が出来ていない。 ・「以前の暮らし方」について 10 個は把握できてなく記録にも残せていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・日々のご利用者の状態がいつもと変化があった時は個人記録に詳しく記録しバイタルチェック表の備考欄に「特記あり」と記載して情報が共有し支援に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30年10月2日 (19:30 ~ 20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井 福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	3人	7人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各ご利用者の地域行事を知る。 ・ご利用者の地域の民生委員と関わる機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の地域行事を把握できなかった。 ・一部のご利用者の民生委員さんと関わられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	6	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	3	3	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	2	3	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	6	5	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者のこれまでの生活スタイルに合わせた環境づくりを行っている。 (ご本人やご家族にお聞きした事をシートに記入しスタッフが閲覧できるようにしている。)
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご利用者の生活が広がる視点を持っていない。 ご利用者の地域資源を知っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・ご利用者との会話の中で地域資源を掘り起こしていく。(情報は地域連携メモに赤い字で記載していく) ご利用者が必要な地域資源を活用できるよう支援に努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 2日 (19:30 ~ 20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井
福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	4人	4人	11人

前回の改善計画
ご利用者のニーズを捉え、自事業所だけでの対応にとらわれず、地域資源を活用していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者のニーズを捉えられたが地域資源を活用できる方と自事業所だけの支援になる方と分れていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	3	3	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	9	0	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7	2	1	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	7	2	1	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・買い物などご本人と相談しながら支援を行った。
・ご利用者の体調の変化に気づきご家族への情報提供を行った。急な受診でご家族が同行できない時はスタッフ同行し受診することができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源を知っていても交渉したり共に働いたりする関係作りが出来ていない。
(一方的な関係を作りがち)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・新たなご利用者のニーズに合わせてスタッフのシフトも変更し必要な支援を行える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 2日 (19:30 ~ 20:30)

6. 連携・協働

メンバー 野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井
福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	4人	3人	4人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会のイベントに全職員が参加できる機会を設ける。 ・事業所でできる役割を見つける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が地域のイベントに参加する事は出来なかったが、一部の職員とご利用者でイベントに参加出来地域の方との交流が持てた。 ・朝生田公園の草引きが少しできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	5	4	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	4	3	4	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	6	1	3	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	5	2	4	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域包括支援センターの事例検討会に参加できた。 朝生田町内の行事に参加し地域の方と交流が持てた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 一部のスタッフの参加になっていた。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 花見、夏祭りを開催し地域の方、ご家族に参加して頂く。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 2日 (19:30 ~ 20:30)

7. 運営

メンバー 野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井
福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	1人	4人	11人

前回の改善計画	・管理者以外の職員が運営推進会議に参加できる。(勤務の調整をする。)
前回の改善計画に対する取組み結果	・勤務の調整をし管理者以外の職員も会議に参加し事業所の取り組みについて報告できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	5	3	3	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	2	2	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	2	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	5	3	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・勤務を調整し管理者以外の職員も運営推進会議に参加でき取り組みについてお伝え出来た。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・勤務調整が上手くできず全員参加は出来なかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・イベントを開催しご家族や地域の方にお越しいただきアンケートにお答えいただき意見等頂く。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年 10月 2日 (19:30 ~ 20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井
福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	1人	2人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">資格取得に向けての研修への参加を促す。リスクマネジメントについての取組みをミーティングで発信する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">介護福祉士の資格取得に取り組めた。GU会でリスクマネジメントについて取組みを実施しミーティングで他スタッフも発信できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	8	1	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	0	1	11
③	地域連絡会に参加していますか	1	3	3	4	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	2	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">内部 外部の研修に全員参加できた。実務者研修は3名行えた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">地域連絡会に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">毎月のミーティングで車の事故防止の為、送迎ルートの危険個所や安全なルートを確認する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 2 日 (19 : 30 ~ 20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 野本 井門 田中 浅木 上原 三永 酒井
福井 池田 上野 石川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	3 人	1 人	11 人

前回の改善計画	・ご利用者の声掛けやケアについて気になることがあれば、その場で職員同士が注意し合う
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員間で不適切なケアがあった時はその対応を記録してミーティングで振り返り防止に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	7	0	0	11
②	虐待は行われていない	2	9	0	0	11
③	プライバシーが守られている	1	9	1	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	5	1	2	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	10	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束については適正化委員会にも参加し学習を重ねている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・不適切なケアがあった時に声掛け会えるのが一部のスタッフになっていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
毎月のミーティングで不適切なケアの事例をあげ検討する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	㈱クロス・サービス	代表者	岡部 純二	法人・事業所の特徴	『出逢えてよかった』をモットーに日々取り組んでいる。事業所が一方向的にスケジュールを作るのではなく、一人一人の今したい事をお聞きしながら、どのような暮らしを望まれているかを一緒（ご利用者・ご家族）に考えていけるよう支援している。
事業所名	小規模多機能ホーム だんだん	管理者	石川 志保		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評の確認	<ul style="list-style-type: none"> テーマごとに、具体的な改善計画を立て全スタッフが個々に取り組んだ経過を運営推進会議で伝えていく。 	改善計画の取り組みの進捗を書面にした。管理者以外のスタッフも会議に参加取り組みについて地域の方にお伝え出来た。	改善計画について報告があり理解できた。前向きな取り組み結果であるので評価できる。改善計画が立てられるが毎回同じように達成に至らないのなら検討すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> 9月に行うスタッフ自己評価を、運営推進会議で地域の方に提示し、総括したものを説明する。 運営推進会議で改善計画の進捗を報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> かわら版の発行直後に必ず職員は公民館に届けに行く。 運営推進会議のご案内を配布のみでなく、電話や送迎時等お誘いの声掛けをしていく。声掛けをしていく。 地域の方にも運営推進会議に参加して頂けるようかわら版にも文面を分かりやすく記載する。 	かわら版の掲示と配布を行っていたが古い物がいつまでも掲示されることがあった。かわら版について地域の方からアドバイスが頂けた。	かわら版によって日々の取り組みが良く分かり活動状況も楽しみにしている。以前に比べ努力が見られ進歩しています。	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月毎に発行する、かわら版に事業所での活動を分かりやすく写真を掲載する。 職員が情報を提供し担当職員と一緒にかわら版を作成する。 地域に掲示するのは最新版を掲示する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が地域のイベントに参加できるようにシフトを作る。参加できない時は、通勤時に地域のゴミ拾いをする。 	地域行事に参加できるのが一部のスタッフになっていた。できる範囲で参加できた。	地域の行事に参加して地道な努力も見られだんだんの地域での知名度も高く評価もされている。ゴミ拾いは退所後する作業です。	<ul style="list-style-type: none"> 花見、秋祭りを企画し、ご家族や地域の方が参加できるように案内文を配布する。 地域のイベントにも参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の地域の民生委員さんに運営推進会議のご案内を配布し参加して頂くよう努める。 	ご利用者の地域の民生委員さんにお会いする機会を作れなかった。	他の地域の民生委員との交流が無いので協力が難しい。ご利用者に何が協力できるか具体的に支援内容を示して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の地域の方に、ご本人と職員で一緒にかわら版をお渡しして、挨拶ができる。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフが、自事業所、他事業所の運営推進会議に参加できるよう努める。 	<p>会議に参加するスタッフが限られていた。 勤務の調整が上手くできなかった。</p>	<p>サービス提供が困難であった事例等その時どうすべきであったかなどの意見をもらうようにするのはどうか? 会議への参加各人年に1～2回できるように計画をたててはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供時の様々な事例を地域の方に、お伝えしご意見を頂いて、今後のサービスの参考にしながら努めていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と防災について運営推進会議で話し合い事業所で出来る事を話し合う。 ・年6回の避難訓練、3事業所の合同の避難訓練を実施し地域の方にも参加頂けるように声掛けをしていく。 	<p>運営推進会議で災害についての話し合いが出来た。11月に火災、地震訓練を地域の方にもお声掛けして参加して頂く。</p>	<p>定期的に防災訓練に取り組んでいる。水害、地震の訓練を増やし取り組んでほしい。事業所が作成する非常災害計画等を地域の方に運営推進会議をとおして確認してもらうのはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が作成する非常災害計画等を地域の方に運営推進会議で確認して頂き意見を頂く。 ・事業所の訓練に地域の方にも参加して頂けるよう案内文を配布する。